

岩手県立高田高等学校 広報



令和4年度第5号

八重の汐

技 訓
至 誠
錬 磨
創 造



オンライン講演会の様子



講演会壮行式・生徒総会議案書審議
五月十一日(水)の七校時、「国連UNHCR協会によるオンライン講演会」で、協会職員の高沼耕平様にご講演いただきました。
国連UNHCR協会によるオンライン講演会
最初に行われたのは「国連UNHCR協会によるオンライン講演会」で、協会職員の高沼耕平様に、Zoomにて講演していただきました。

高総体県大会及び春季野球県大会壮行式
オンライン講演会に引き続き、壮行式が開催されました。
本来なら、全校集会を開き、出場する選手に対して直に声援するところですが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、オンラインによる開催となりました。講演会に続いて、氷上ホール



国連UNHCR協会は、国際連合の難民支援機関であるUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の活動を支えるために、日本の公式支援窓口として約二十年前に設立された特定非営利活動法人です。
現在進行中のウクライナの状況をはじめとした世界の人道危機の現況について学び、難民・避難民の支援について考えました。

を主会場に、三学年が氷上ホール、一・二学年が各教室で参加して、出場する選手の活躍を祈念しながら静かに応援しました。
壮行式の後には、三学年生徒も教室に戻り、各教室で生徒総会議案書の審議を行いました。



壮行式で挨拶する各部の代表

海洋システム科海洋科学コースの課題研究
五月十三日(金)の一日から四校時までの時間、広田町六ヶ浦漁港で、海洋システム科三学年海洋科学コースの生徒達が、課題研究の授業を受けました。
この課題研究の授業では、地域の水産業への貢献を目的にした研究を進めます。海洋科学コースの三年生は、今年、「遭難者を

高田松原再生活動
五月十七日(火)の三・四校時、二・三学年の普通科文系Aコース(専門学校進学と就職を目指すコース)の生徒達と、二・三学年の海洋システム科の生徒達が、NPO法人「高田松原を守る会」の皆さんと一緒に、市内高田松原のマツ植栽地で草取りの奉仕活動を行いました。
この活動は、本校の総合的な探究の時間であるJ×ACTIONプロジェクト(タクシオン・プ



でも、やはりちよつと冷たい...

助ける手軽なライフジャケットの開発」をテーマに実験を行っています。この日は、カヌーを用いて海上のペットボトルによる遭難者の救助実験を行いました。
まだ五月でしたが、なんとか泳げました。



活動の様子

ロジェクト)の一環として行ったものでした。
参加した生徒達は、再生した五十年後の高田松原の姿を思い描きながら、復興の願いを込めて活動していました。



優勝した門田真歩さん(左)と3位入賞の金野里琉さん(右)

県シニア選抜ソフトテニス大会女子シングルス二連覇
四月二十八日(木)と二十九日(金)に北上市で開催された岩手県ジュニア選抜ソフトテニス大会シングルスで、普通科三年二組の門田真歩さんが、昨年に引き続き優勝しました。
門田さんは、六月二十二日(水)と二十六日(日)に北海道札幌市で開催される全国大会への出場権を獲得しました。